

I アンケート調査の概要

1 調査の目的

このアンケート調査は、平成23年度「しあわせ倍増プラン2009」市民評価報告会における参加者の属性、意見・感想等を調査・分析し、その傾向などを把握することを目的に実施した。

調査結果は、次年度の市民評価委員会、市民評価報告会の開催及び「しあわせ倍増プラン2009」に掲げた施策の推進に役立てるとともに、今後、さいたま市が重点的に取り組む必要がある事業を検討するための参考資料として活用するものである。

2 調査の内容

- (1) しあわせ倍増プラン2009について
- (2) 市民評価委員会について（活動・事業評価・報告書）
- (3) 市民評価報告会について（開催日程、内容）
- (4) 今後、市が取り組む必要がある分野
- (5) 参加者の属性

3 調査の方法

- (1) 調査対象 市民評価報告会の参加者（約130名）
- (2) 標本数 93名
- (3) 調査方法 参加者へのアンケート配布・出口回収
- (4) 調査日 平成23年10月15日（土）

4 回収結果

参加者	標本数	回収率
約130名	93名	約71.5%

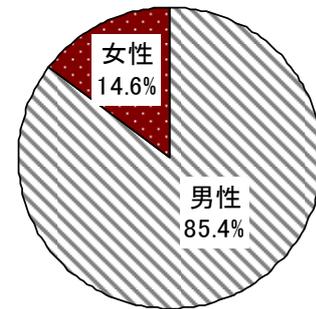
5 集計と分析にあたって

- (1) 図表中の「n」とは、該当質問における回答者総数を示している。
- (2) 集計にあたっては、小数点以下第2位を四捨五入している。このため、数値の合計が100%にならない場合がある。
- (3) 回答の比率（%）は、「n」を基数として算出した。したがって、複数回答の比率合計は100%を超えるものがある。

Ⅱ 回答者の属性

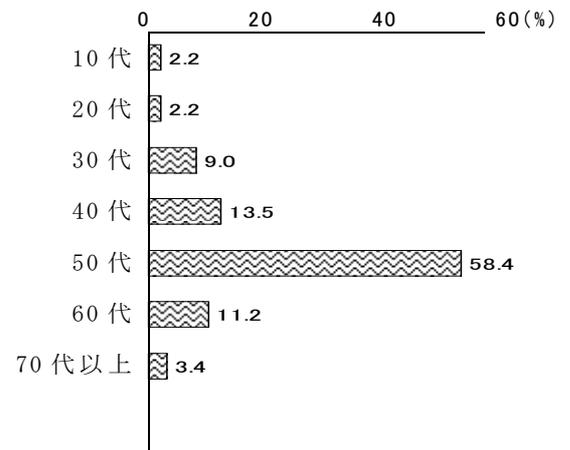
(1) 性別

	基数	構成比
男性	76	85.4%
女性	13	14.6%
無回答	4	
合計	93	100.0%

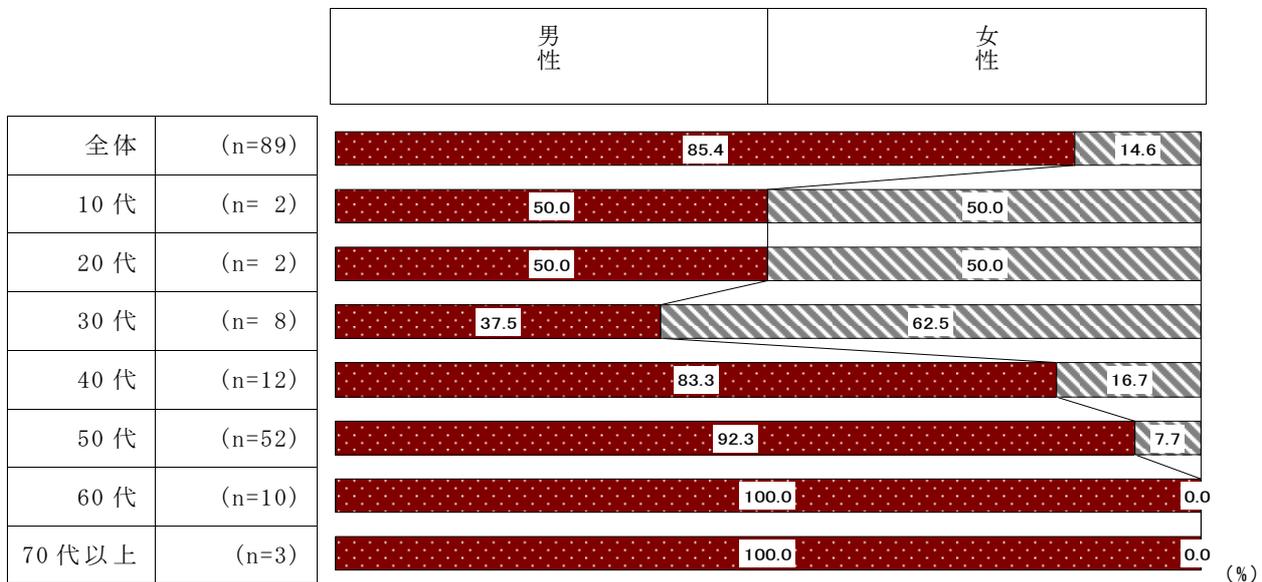


(2) 年齢

	基数	構成比
10代	2	2.2%
20代	2	2.2%
30代	8	9.0%
40代	12	13.5%
50代	52	58.4%
60代	10	11.2%
70代以上	3	3.4%
無回答	4	
合計	93	100.0%

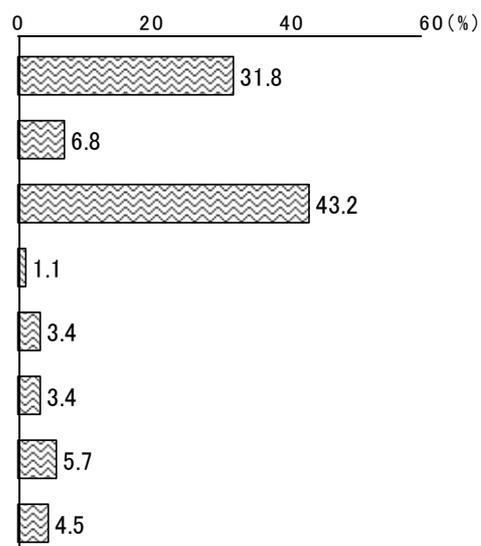


【年齢別 性別】



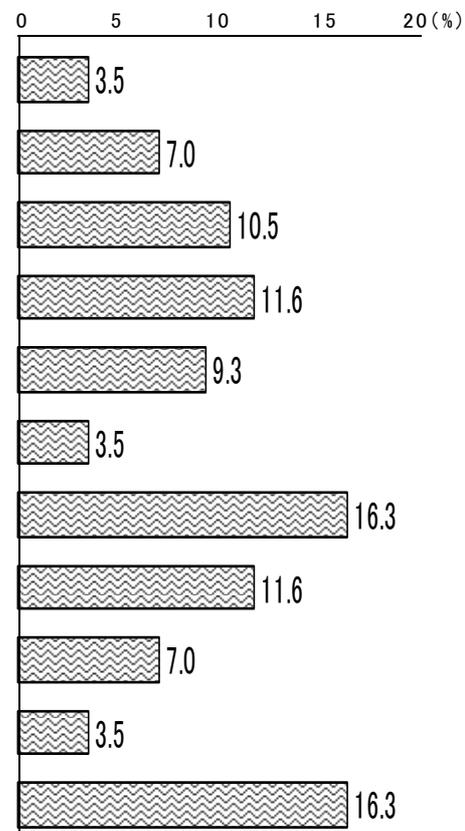
(3) 職業

	基数	構成比
会社員	28	31.8%
自営業	6	6.8%
公務員	38	43.2%
アルバイト	1	1.1%
専業主婦(夫)	3	3.4%
学 生	3	3.4%
無 職	5	5.7%
その他	4	4.5%
無回答	5	
合 計	93	100.0%



(4) 居住区

	基数	構成比
西区	3	3.5%
北区	6	7.0%
大宮区	9	10.5%
見沼区	10	11.6%
中央区	8	9.3%
桜区	3	3.5%
浦和区	14	16.3%
南区	10	11.6%
緑区	6	7.0%
岩槻区	3	3.5%
市外	14	16.3%
無回答	7	
合 計	93	100.0%



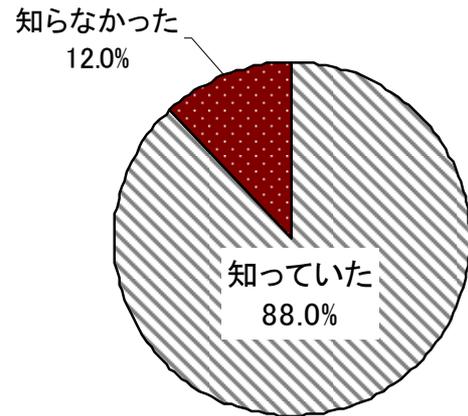
Ⅲ 調査結果の概要

(1) 「しあわせ倍増プラン2009」の認知度

■設問1 「しあわせ倍増プラン2009を知っていましたか？」

しあわせ倍増プランを知っていた人は、回答のあった92名のうち、88.0%を占めている。

	基数	構成比
知っていた	81	88.0%
知らなかった	11	12.0%
無回答	1	
合計	93	100.0%

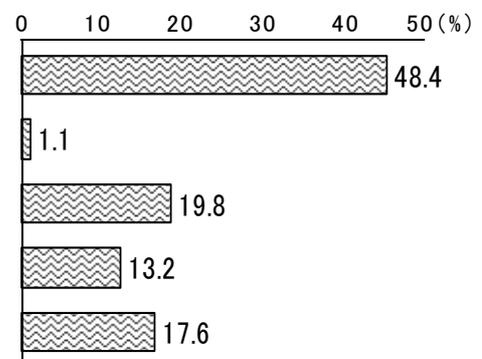


(2) 「市民評価委員会」の認知手段

■設問2 「市民評価委員会の活動を何で知りましたか？」

「市のホームページ」で知った人が、全体の48.4%を占め、2位が「チラシ」の19.8%となっている。

	基数	構成比
さいたま市ホームページ	44	48.4%
新聞	1	1.1%
チラシ	18	19.8%
知人から	12	13.2%
その他	16	17.6%
無回答	2	
合計	93	100.0%

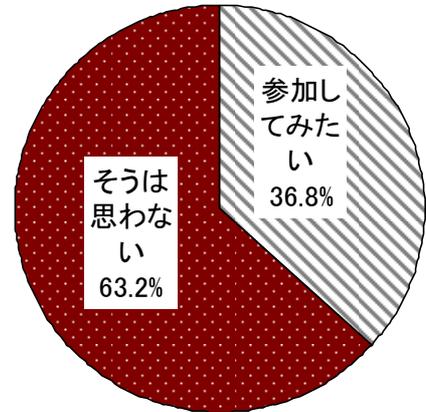


(3)「市民評価委員会」への参加意向

■設問3 「市民評価委員会に参加したいと思いますか？」

回答のあった87名のうち、約37%の32名が参加したいという回答であった。

	基数	構成比
参加してみたい	32	36.8%
そう思わない	55	63.2%
無回答	6	
合計	93	100.0%

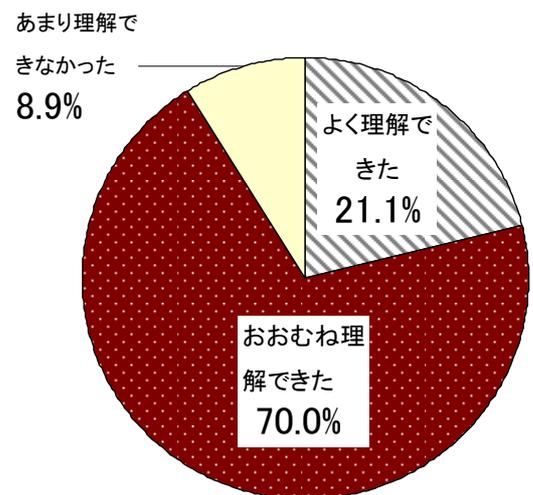


(4)「事業評価・報告」の理解度

■設問4 「事業評価や報告の内容はわかりましたか？」

「よく理解できた」が21.1%、「おおむね理解できた」が70.0%、合計で91.1%の参加者が理解できたという回答であった。

	基数	構成比
よく理解できた	19	21.1%
おおむね理解できた	63	70.0%
あまり理解できなかった	8	8.9%
まったく理解できなかった	0	0.0%
無回答	3	
合計	93	100.0%

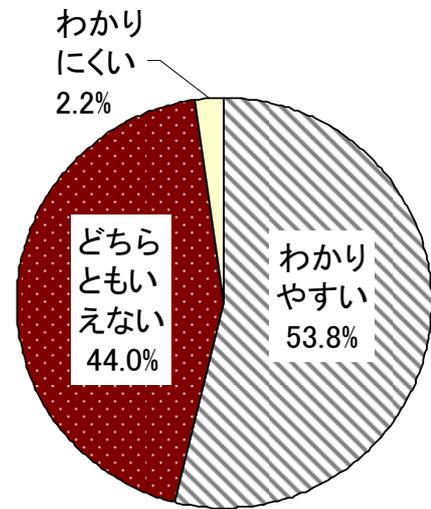


(5)「市民評価報告書」のわかり易さ

■設問5 「報告書の内容はいかがでしたか？」

「わかりやすい」が53.8%。「どちらともいえない」が44.0%という回答であった。

	基数	構成比
わかりやすい	49	53.8%
どちらともいえない	40	44.0%
わかりにくい	2	2.2%
無回答	2	
合計	93	100.0%

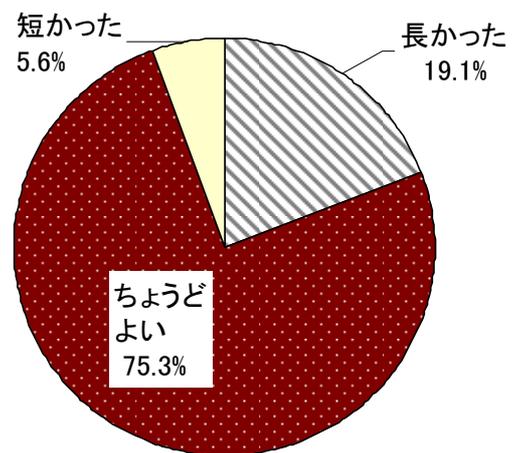


(6)「市民評価報告会」の時間配分

■設問6 「市民評価報告会の時間配分はいかがでしたか？」

「ちょうどよい」が75.3%という回答であった。

	基数	構成比
長かった	17	19.1%
ちょうどよい	67	75.3%
短かった	5	5.6%
無回答	4	
合計	93	100.0%

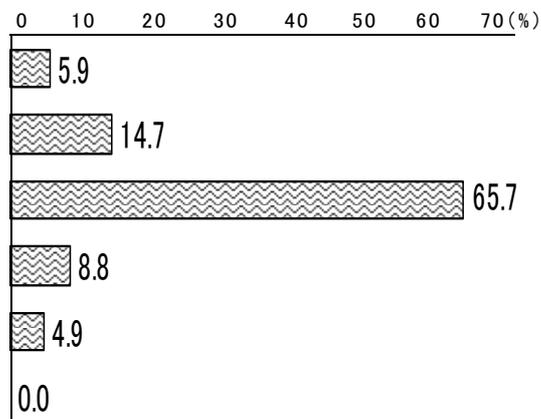


(7)「市民評価報告会」の開催曜日

■設問7 「市民評価報告会の開催曜日はいつがよいと思いますか？」(複数回答含)

「土曜日(昼間)」開催が、最も多い65.7%で、2位は「平日(夜間)」開催の14.7%という回答であった。

	基数	構成比
平日(昼間)	6	5.9%
平日(夜間)	15	14.7%
土曜日(昼間)	67	65.7%
土曜日(夜間)	9	8.8%
日曜日(昼間)	5	4.9%
日曜日(夜間)	0	0.0%
合計	102	100.0%

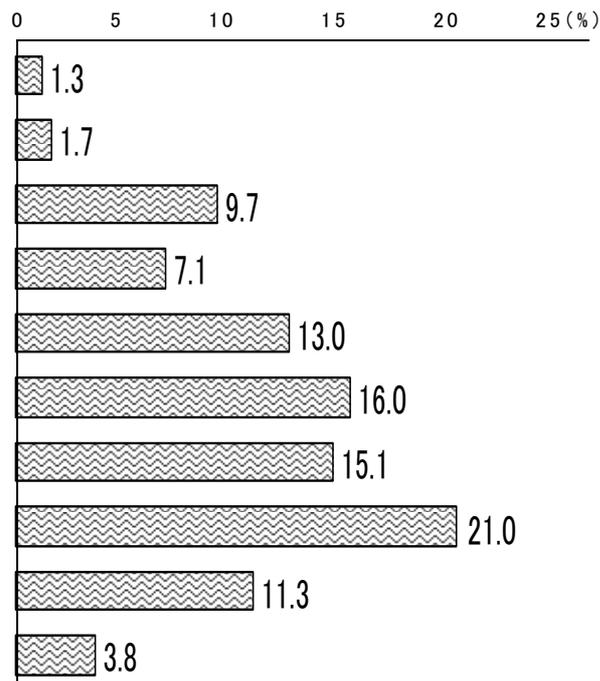


(8)「重点的に取り組むべき分野」

■設問8 「今後、さいたま市が重点的に取り組む必要があると思った分野はどれですか？」(複数回答含)

「環境・まちづくり」、「高齢者」、「健康・安全・安心」、「子ども」の分野の順で多く、一方で、「行動宣言」、「条例宣言」の分野では少ないという回答であった。

	基数	構成比
行動宣言	3	1.3%
条例宣言	4	1.7%
行財政改革	23	9.7%
市民・自治	17	7.1%
子ども	31	13.0%
高齢者	38	16.0%
健康・安全・安心	36	15.1%
環境・まちづくり	50	21.0%
経済・雇用	27	11.3%
地域間対立を越えて	9	3.8%
合計	238	100.0%



IV 記述式回答及び自由意見

(1)「今後、さいたま市が重点的に取り組むべき事業」

■設問1 「今後、さいたま市が重点的に取り組む必要があると思う事業がありましたらお書きください。」

さいたま市が重点的に取り組む必要があると思う事業を記述式回答として聞いたところ、26件の回答があった。なお、1人で複数の内容を回答している場合には、各項目に分けてカウントしている。

分野	件数
1. 行財政改革	3
【主な意見】	
・ 財政赤字の解消	
・ 職員研修の大幅な拡充	
・ 小学校の校長、教頭への女性職員の積極的登用（現在、登用率は19政令市の中で最下位）	
2. 市民・自治	2
【主な意見】	
・ 自治会、自治会館についての充実を	
・ 市民参加（今まで関心の高い人しか、対話集会などには参加してこなかった。参加することにメリットがあり、市政に関心の低い人も取りこめるような仕組みをつくって、市民が共にまちづくりをできるように）	
3. 子ども（子育て・教育）	3
【主な意見】	
・ 子育て支援事業	
・ なわとび、逆上がりプロジェクトですが、子供たちへの自由参加ということで、学校側はプリントを配布しただけでした。1人で出来るなわとびや、逆上がりは出来ますが、大なわとびなど1人ではきびしいものもあり、実際は配るだけという形になったと思います。全国的に子供も体力が低下している今日、もっと体力強化の政策をしてほしいと思いました。	
・ 高齢者より子育て世代、子供への予算配分を	
4. 高齢者	2
【主な意見】	
・ 高齢化対策	
・ 高齢者の生きがいづくり、福祉施策に力を入れて欲しい	

5. 健康・安全・安心	2
【主な意見】	
<ul style="list-style-type: none"> ・災害に強いまちづくり ・防災、減災に関する事業に早急に取り組むべき。今、できなければ、あとではできないと思います。 	
6. 環境・まちづくり	5
【主な意見】	
<ul style="list-style-type: none"> ・良好なまちづくり→スマートタウン（低エネルギーのまち、緑の保全、活用、創造など） ・都市基盤整備につきる。 ・上下水道事業を取り組んで下さい。他県、他市に比べ料金が高く、サービスが悪いと思います。合併の影響はコストが高止まりに右にならえとなります。少しでも単価の押さえられた、市民の財布にやさしい料金体系をお願いします。 ・安心して歩ける歩道の整備、歩いて買い物ができる街。 ・高齢化、災害対応にともなう道路の改善。①子供、高齢者の安全な通行の確保、②基幹道路（都市計画）の拡幅工事進捗に努める。 	
7. 経済・雇用	3
【主な意見】	
<ul style="list-style-type: none"> ・①市の特色、特徴を生かす事業の育成（例）盆栽を全国、世界にアピールする事業を観光、採算を考慮しつつ行う。②収入（収支）減が予想される中、“企業誘致”に更に力を注いで欲しい！（雇用の確保と収入増の為） ・雇用（市内で働けること。特に、子育て中の人や疾患を抱えている人でも可能な短時間勤務を） ・さいたま市のブランド力を高めるということが課題だと感じたので事業として「テクニカルブランド認証事業」を重点的に取り組むと良いと思います。 	
8. 地域間対立を越えて	1
【主な意見】	
<ul style="list-style-type: none"> ・大宮駅東口の再開発を早く実行して頂きたい。 	
9. その他	5
【主な意見】	
<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの分野での各事業が相応に重要であると思われる。個々の事業が重点的に取り組むものとして積極的に取りくむ必要がある。 ・重点も大事ですが、バランスも大事だと思います。 ・伊藤巖委員と延原正弘委員の所感と同じ意見を持ちました。一つの取組を評価する上で市民の声、意見を直接聞くことが大切であり必要であると思います。 ・埼玉県政令指定都市として埼玉県をリードするような事業も必要になるのではないかと思います。県内の中心となる街、県外へも情報を発信できる資源（スポーツ、文化、観光、などか） ・男女共同参画事業のさらなる推進 	

(2)「その他、ご意見・ご感想等」

■設問2 「その他、ご意見・ご感想等がございましたら、ご自由にお書きください。」

自由意見等については、27件の回答があった。なお、1人で複数の内容を回答している場合には、各項目に分けてカウントしている。

主な意見は以下のようなものである。

※備考：回答者の属性【①性別・②年代・③住所（居住区）・④職業】

区 分	件数
1. 評価委員会（または報告会）の感想	5
○ そもそも、その事業が必要かどうか議論すべき点があるように思います。事業の選択と集中こそ、市民が取り組むべきではないでしょうか？ 【男性・50代・見沼区・公務員】	
○ 市外から参加しましたが、評価委員会の実施内容がわかりやすくなっていると思います。委員長の説明、回答がわかりやすい報告会をもっと市民に告知したらよいと思います。 【女性・30代・市外・会社員】	
○ 一般市民（公募）の参加のしくみを更に強化して頂きたい。団体推薦委員長は再任が多い。公募委員は1回キリ→希望者（関心の強い、責任感の強い人）は再度チャレンジしてもらいしくみをお願いします。 【男性・60代・北区・会社員】	
○ 倍増プランについては、その進捗が気になっていたもので、年度ごとの報告が受けられることはよかった。あと、行政のイベントは時間がのびたり、早く終わったりするが、ぴったり終わったのでよかった。 【女性・20代・緑区・会社員】	
○ 本日は大変勉強になるお話をありがとうございました。私は市政に関する知識をあまり持っていなかったもので、学ぶことが多くあり市政により興味を持つことができました。皆様がさいたま市をより良くしたいという気持ちがとても伝わり、私も協力していきたい、この町に住みたいと強く思いました。 【男性・10代・市外・学生】	
2. 評価報告会（報告内容・報告書）の感想	12
○ 大変有意義な時間でした。一方で報告書に委員会の会議での議事録をのせるなど、より詳細な報告書が欲しかったです。 【男性・20代・市外・公務員】	
○ Q Aの際に質問された方の立場に片寄った意見等が多く聞き苦しかった。市全体としての考え方をまとめるのは行政側が市議会への回答で行っていると思うので、この報告会にはそぐわないように感じました。 【男性・40代・緑区・会社員】	
○ 委員の話しが短く、もう少し具体的な話しを聞きたかった。 【男性・60代・見沼区・会社員】	
○ 評価委員の略歴が欲しい→さしつかえのない範囲で。	
○ 昨年よりとても良くなった。 【男性・50代・中央区・会社員】	

○ 手話通訳者がなかったことは驚きです。最今は、通訳を置くことが標準ではないかと思われるが、いかがでしょうか。	
○ 会議参加者の質疑の中に市民評価委員会の位置づけを理解せず、行政に対しての質問が入っていた。報告会の意味をPRする必要があると思いました。	【男性・50代・大宮区・会社員】
○ 資料とパワーポイントの整合性がなく理解しづらい（見た目）ため統一することを進める。	
○ 報道に取り上げられるような成功例を積極的に発表すべきである。報告会でもマスコミをうまく使うこと。	【男性・50代・緑区・会社員】
○ なぜ、全員の委員さんの参加がみられないのでしょうか。	
○ 前席が空いていたので工夫を。	【男性・50代・浦和区・自営業】
○ パワーポイント資料の配布があればベター	【男性・60代・西区・無職】
3. 評価方法（目標の見直し）について	1
○ 委員の評価によっては評価ではなく、施策目標の強い見直し意見があったが、施策の見直しができるかどうか疑問である。	【男性・50代・岩槻区・会社員】
4. その他（事業内容、市政全般）	9
○ 政令指定都市になり、区がたくさん（10区）ありすぎる。そのため行事が土日に集中している。区の数減らすことはできないのか。	【男性・50代・浦和区・会社員】
○ さいたま市は政令指定都市入り10年で人口が増加するのみで大きければいいわけではありません。市民にやさしい、きめの細かい対策をして下さい。そして財政は赤字にしないで下さい。しあわせは半分で押えて下さい。	【男性・60代・南区・会社員】
○ 今の市長になってから、市民との対話やこのような報告会を頻繁に開いてくれるようになって、市政への関心が高まった。	
○ 岩槻への鉄道延伸は本当に必要か個人的に疑問に思う。庁舎をあたらしくしたり、大宮駅周辺開発の方が大切では。	【女性・20代・緑区・会社員】
○ 普段生活している上で、水道や電気、ごみ処理など、行政職員の方々がいなければ生活出来ない部分が多くあります。しかし、私たち市民はそれが当たり前だと思っていた所もあります。行政職員の方々の努力を忘れず感謝したいと改めて思いました。	【女性・10代・見沼区・学生】
○ p75の観光資源の活用に関して、大宮夏祭りのスパークカーニバルでプロサンバダンサーの招へいに市からの補助金が100数十万円も支出されていますが、プロサンバダンサーは「市内の観光資源」とはいえないと思います。	【男性・60代・南区・その他】
○ 西区は荒川域の低地帯が広がり、内水氾濫が近年多くなっている。（西区だけではなく、荒川域の現実として）原因として、①インフラ未整備ー鴨川揚水域の容量不足、新川の改修遅れ、②まちづくり理念のない住宅地開発による出水	
○ 林委員の重要度が高いが評価低く、打開策がない事例を最優先に！同意します。	【男性・60代・西区・無職】
○ シニアユニバーシティ施設の拡充を願いたい。	【男性・70代・南区・無職】